

序 文

2019年12月、中国湖北省武漢市において原因不明の肺炎の発生が確認されました。翌2020年1月に世界保健機関(WHO)より、新種のコロナウイルスが肺炎患者から検出されたと報告されました。後に coronavirus disease 2019 (COVID-19) と命名されたこの新型ウイルス感染症は急激な勢いで世界各地に広がり、1月30日にWHOが緊急事態を宣言し各国に対策を指示しましたが、感染拡大は収まっていない状況です。日本国内では2020年1月15日に最初の感染者が報告されて以降、患者数は増加し続け、2020年2月末現在でも収束の兆しはみられていません。感染者は今後さらに増加する可能性があることに加え、インフルエンザのように毎年流行する可能性も危惧されており、その対策が急務となっています。

この度、『呼吸器内科医が解説！新型コロナウイルス感染症—COVID-19—』を上梓することとなりました。本書は、2020年2月末時点までに発表された英語論文、WHOからの報告など、情報源がはっきりとした内容のみをまとめた書籍です。各項のはじめにポイントを掲載し、要点を整理しやすいよう工夫を凝らしました。新規の感染症が発生した際はデマやフェイクニュース、エビデンスの確立していない情報が錯綜することが多いですが、本書ではそのような内容を記載せず、あくまで現時点で入手可能な科学的事実のみを記載しました。しかしなが

ら、本書制作時点ではウイルスの発生原因、感染経路、感染力、予防方法など、まだ不明な点も多数存在することも事実です。これらの内容については本書のみならず、最新情報を文献などから入手していただきましたら幸甚です。

本書はもとより臨床に携わる全ての医師の先生方を対象に作成いたしました。しかし、基本知識から新設のガイドライン、文献に至るまで、2020年2月末現在のCOVID-19に関する最新情報が掲載されており、医師以外の医療者、さらには一般市民の方々におかれても、正確な情報の確認に有用と考えております。本書が読者の皆様の知識の確認、さらには感染対策の一助になりますことを心より望んでおります。

最後に、本書の迅速な制作、編集に多大なるご尽力をいただきました医療科学社の齋藤聖之氏に深謝いたします。

2020年3月
栗野 暢康
出雲 雄大

※本書の内容はいずれも2020年2月末時点のものです。適宜、最新情報をご確認ください。